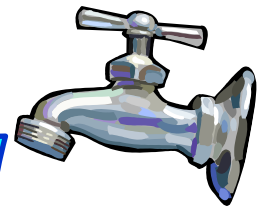


# 皆が知りたい!!!



プールに入っているの？  
外で遊んでいるの？  
水道水は飲めるの？



「プールに入っている？外で遊んでいる？水道水は飲める？」

折しも学校のプール開きが続々と始まり、もうすぐ夏休みも来るし、そろそろ外で遊ばせたいけど、本当に大丈夫？子供だけは守りたい。どうしたらいい？もう親の判断だけではどうにもならない問題になってきました。

国(厚生労働省)が「妊娠中の方、小さなお子さんをもつお母さん方の放射線への心配にお答えします。～水と空気と食べものの安心のために～」をリリースしました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014hcd-img/2r98520000014hdu.pdf>

でも、その中身は「安心、安全、ご心配はいりません」に終始しました。逆に、見れば見るほど不安になるのはなぜでしょうか？それはやはり、どうして大丈夫なのか、情報公開、根拠を示していないからです。定点測定値も、暫定基準値も載せていないからです。

大森医師会はそんな方々の心配に答えるため、いくつかのデータを区民の皆様と共有すべく、まとめてみました。さらにこれからも最新情報を随時更新し、皆様に公開していく予定です。

大田区はいわゆるホットスポット(周辺と比べて局所的に放射線量が高くなる場所)に指名されてはいませんが、やはり心配です。今まで大田区は定点測定を行っていませんでしたが、民間の山田豊さん達が「放射能の影響から子どもの健康を守る会」なるものを発足させました。

<http://ameblo.jp/kodomokankyo/>

彼らが大田区に陳情した結果、やっと行政も重い腰を上げ、6月15日と6月22日にまず区内3ヶ所での空間放射線量の定点測定を開始しました。

<http://www.city.ota.tokyo.jp/shinsai/kunai/houshasen/sokutei/index.html>

測定箇所

大田区東糀谷四丁目5番1号(東糀谷防災公園)  
大田区大森西一丁目12番1号(大森地域庁舎)  
大田区蒲田五丁目35番1号(本蒲田公園)

測定方法

測定地点の地上5cm、50cm、100cmの高さで測定します。

測定結果

測定日時			天気	測定場所	測定値		
					100cm	50cm	5cm
6月15日	水曜日	10:00～10:20	曇り	①東糀谷防災公園	0.10	0.11	0.12
		11:00～11:15	曇り	②大森地域庁舎	0.09	0.10	0.11
		13:10～13:23	曇り	③本蒲田公園	0.08	0.08	0.08
6月22日	水曜日	10:00～10:12	晴れ	①東糀谷防災公園	0.10	0.10	0.11
		11:00～11:15	晴れ	②大森地域庁舎	0.09	0.10	0.11
		13:00～13:17	晴れ	③本蒲田公園	0.07	0.08	0.08

単位:  $\mu$ Sv(マイクロシーベルト)/h(時)



今後の  
実施場所

大田区立小、中学校、保育園、公園、区営プールなど計 161 ヶ所。

測定時期

準備が整い次第、6月下旬から開始します。

まだ3ヶ所のデータしかないのですが、はたして大田区は大丈夫でしょうか？それには東大医学部附属病院で放射線治療を担当していて、茨城県東海村の JCO 臨界事故で被曝した作業員の治療にも携わった、中川恵一准教授のお話を聞きましょう。

『被曝が人体に与える影響は「100 ミリシーベルトがひとつの目安」。100 ミリシーベルトの放射線を浴びた場合、がんが原因で死亡するリスクは最大で約0.5%上昇。それだったら、タバコや飲酒による発がんリスク(約2,000 ミリシーベルト相当)の方がはるかに大きい。』

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/110608/bdy11060822250001-n1.htm>

大田区が発表した3ヶ所のデータの中で、 $0.12 \mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)/h(時)が最高です。それを年間に換算しますと、1051.2 マイクロシーベルト、つまり1.05 ミリシーベルトになります。100 ミリシーベルトに遠く及ばない。**外で遊んでいても、全然大丈夫です。**

またプールと水道水の問題は、慶応大で放射線医学を担当した久保敦司名誉教授に答えて頂きましょう。

『プールの水の検査について、「現在の水道水の放射線量の低さを見れば心配ないというのが前提だが、雨水も混じるものなので、地域ごとに地点を決めて調べておき、不安の解消につなげることは大事だ」とする。しかし、「食品は出荷などの時点で放射線量の検査が行われ、水道水も水道局の放射能測定で放射性物質が不検出であり、安全性が確認されているので、給食にまで検査を広げる必要はないと思われる」と話している。』

<http://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/news/20110608-OYT8T00668.htm>

**プールに入っているし、水道水を飲んでも大丈夫ということになります。**

ただし江東区の団体の依頼で、神戸大学大学院海事科学研究科で放射線計測を専門とする山内知也教授が江東区内の学校・公園などでの実地調査を発表したところによりますと、コンクリート部分や排水口周りからセシウム1,100cpmのベータ線が検出された(神戸で同じ条件での検査値は60cpm)。放射線の中でもセシウムはコンクリートや粘土と親和性が高く、残留し易い。

<http://fukurou.txt-nifty.com/fukurou/2011/06/post-9383.html>

まとめ

この夏にこどもがプールに入らせてもいいし、外で遊ばせてもいい。水道水を飲んでも OK。ただし

**プールに入るための心得**として

- (1) まず皮膚に傷のある方は遠慮すること。
- (2) コンクリートのプールサイド、土の植え込みでは遊ばない、寝転ばないこと。
- (3) プールに入った後、よくうがいをし、全身(特に足の裏)をよく洗うこと。



(文責・劉 家華)

(意匠・池田浩子)